



広報

# ぬくもり

第4号

住んでみたい四絡  
住んでよかった四絡  
～認めあい支えあう  
やさしさあふれるまちづくり～



◆ 発行者 四絡地区同和教育研究指定事業推進委員会 (四絡コミュニティセンター内)

## 「認めあい支えあう やさしさあふれるまちづくり」をめざして

四絡地区同和教育研究指定事業推進委員会

会長 安達清志

4号には「こどもと人権」について書いています。

近年、インターネットを使った「いじめ」が問題になっています。インターネットを使ったいじめがなぜ問題か、それは下の理由からです。

1 悪口やうわさを書いた人がどこのだれかわかりにくい。

2 本人の知らないところで悪口やうわさがどんどんひろがる。

3 インターネットを使ったいじめは、被害者に大きな心の傷を与える。

4 被害にあった時、そのことを誰に相談したらいいのかわからない。

などです。わたしたちおとなは、こどもがインターネットを使う時に、人の悪口やうわさを絶対に書かないこと、何か困ったことがあれば必ず保護者に相談すること、この2点をまもらせなければなりません。

さて、いじめの原因にはいろいろあります。多くは、学校や家庭、社会環境など様々な問題が複雑にからみ合っておこっています。しかし根底には、他人に対する思いやりやいたわりなど、人権を大切にする意識の少なさにあるのではないのでしょうか。いじめを解決していくためには、お互いの異なる点を個性として尊重するなどの人権意識を高めていくことが大切です。

そのためには、まず、おとなが、こどもたちによいお手本を示さなくてはなりません。みんなが力を合わせて「認めあい支えあい やさしさあふれるまちづくり」を進めていくことが大切です。皆様のご協力をよろしくお願いします。

